



「会長就任にあたって」

同窓会会長 白井良雄

昭和29年卒 東大原

同窓会員の皆さま、今年は4年ぶりに総会を開くことが出来ました。また本年は2年に一度の役員改選時期に当たり、今まで東大原小学校同窓会時代から下北沢小学校同窓会にかけての10年5期、同窓会会長を務めて頂いた野地勝彰前会長（昭和26年東大原卒）には心から感謝の意を表します。

思い返せば私は65歳で会社生活に終止符をうち、地元の同級生との交流が再開し、なんとなく東大原小学校同窓会に誘われて、以来16年、岩下会長、宮川会長、野地会長と三代の立派な会長の下で活動し、おかげさまで地元でご挨拶をする方々も増えました。この間、北沢、東大原、守山の三校統合に伴い各同窓会を統合し、下北沢小学校同窓会の設立に関わりました。色々思い出すことの多い統合でしたが、北沢地区、大原地区、代田地区、羽根木地区から役員を出していただき、三校の卒業生と歴史をすべて引き継ぎ、さらに下北沢小学校の卒業生を加えつつ、仲良く下北沢小学校同窓会を運営しております。

本年3月末での四校の卒業生は約30,000名になります。現在住所が判明している方々と学校・地域関係者等を含めて6,500名に同窓会報をお送りしています。うち、昨年度は約530名の方々から年会費や寄付をいただいております。

同窓会の目的は、同窓生の親睦と母校の発展支援、地域との共生の三つです。皆様にお寄せいただいた貴重な資金はこの3

つの目的のために使われております。

次頁の富安副校長の原稿にもあるように、学校現場での教育環境が大きく変革している現在、IT先進校を目指している下北沢小学校の活動にも、皆様のお気持ちが寄与していることあらためて感謝申し上げます。前会長に恥じないよう同窓会の若返りを図りつつ役員の方々と協力して任期を全うしたいと考えております。

皆様に感謝

野地勝彰 昭和26年卒 東大原

4月の総会で退任しました。

副会長、理事、評議員の皆様を支えられ、会員の皆様からのご支援とご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

学校の統合に沿うように当同窓会も北沢、東大原、守山3校が一つに纏まって最も望ましい形になったことが10年の任期中で一番嬉しかったことです。

これからは任期中一番支えて頂いた白井良雄新会長と、選出された副会長の方々のリードでますます活動する同窓会になって行きます。

会員皆様からの変わらぬご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。



白井新会長



野地前会長

第8回 同窓会総会のお知らせ

日時：2024年4月21日（日）午後3時から予定 場所：下北沢小学校 体育館

総会と合わせて、楽しい企画も計画中です。ぜひご参加ください。

詳しい内容は3月までにホームページとポスターでお知らせ致します。当日午後1時からメモリアルルームにて本会報で紹介した学童疎開の写真や資料、さらに各小学校の卒業アルバムも公開します。

会報原稿募集、同窓会会費納入のお願い

会報に掲載する「同窓生の声」を募集しております。小学校時代の思い出、同期会の様子、近況報告などお寄せください。本文200字から250字程度で、そのほかにタイトル、氏名、卒業した小学校、卒業年を入れてお送りください。また採否のお知らせや問い合わせ用に、住所、電話番号、メールなど連絡先も明記してください。原稿やお問い合わせは、下記の同窓会連絡先の住所あてに郵送、またはメールにてお送りください。

同窓会は総会開催や会報発行のほかに、本会報にもありますように、撮影機材や図書の寄贈など下北沢小学校の活動の支援も行っています。これら活動に資するために20歳以上の卒業生の方から、年間1,000円の会費を任意で納入していただいております。同窓会のさらなる発展のためにも、会報に同封した払込用紙でお支払いにご協力をお願いします。また会費に加えて、同じ払込用紙で、一口1,000円の寄付も募っておりますので、こちらもご協力いただければ幸いです。

同窓会連絡先 〒156-0041 東京都世田谷区大原1-4-6 下北沢小学校内 下北沢小学校同窓会事務局

同窓会への連絡はメールアドレス
dosokai@shimokitazawa.school
までお寄せください。



同窓会ホームページ
<http://www.shimokitazawa.school>
下北沢小学校のHPIにもリンクしています。



イギリス教育大臣が下北沢小学校を訪問

下北沢小学校 校長 大字 弘一郎

令和5年度の下北沢小学校は、131名の新1年生を迎え、児童数742名でスタートしました

ゴールデンウィークが終わり、運動会に向けて練習が始まった5月12日に、外国から素敵の方が本校を訪れました。G7(主要7か国)教育相会合で来日していた、イギリスのジリアン・キーガン教育大臣です。今回の大臣の下北沢小学校訪問の目的ですが、日本の小学校で行われている教育活動を視察し、イギリスの初等中等教育の水準を向上させるための参考にしたいとのことでした。

12時過ぎに本校に到着すると、日本語で「コンニチハ」と気さくにあいさつをされ、そのまま校庭で行われている運動会に向けた選抜リレーの練習を見学されました。そのあとは、4年生の教室で子どもたちとの給食タイムになりました。整然と準備を進める給食当番の姿を見て、日本の学校教育を通して培われている、秩序や規律、利他の精神、チームワークなどに心から感心した様子でした。キーガン大臣はとてもフランクな方で、下北沢小学校の子どもたちもすっかりファンになったようでした。一緒に給食を食べながら、子どもからの質問にも率直に答えてくださいました。「大臣がいままで食べたランチで、一番おいしかったものは何ですか?」という質問には、満面の笑顔で「今日の給食よ!」と返してください、子どもたちは大喜びでした。

給食のあとは、精力的に授業の様子を参観され、別れ際には、今日の訪問で学んだことをしっかりとイギリスの教育に活かしていきたいと語られ、下北沢小学校を後にされました。

もう一人、外国からのすてきなゲスト紹介します。ロボット掃除機ルンパで世界的に有名なアイロボット社CEOのコリン・アングル氏が、9月14日に来日し、本校の2年生児童にプログラミング特別授業を行ってくださいました。コリンCEO自らが指導者となり、直接児童に



プログラミングの楽しさを伝えてくださいました。授業の終盤では、児童がプログラミングを行って、実際にルンパを動かしてみました。ルンパが命令通りに動くと児童からは大歓声が上がリ、本当に素晴らしい体験となりました。

画像伝送システムの導入と運用、 学校図書への同窓会の支援について

下北沢小学校 副校長 富安 誠哉

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、学校生活も以前のような活気が戻ってきました。児童は、マスクを外して遊んだり、歌ったり、友達と話をしたりして、元気に生活しています。



同窓会の皆様には、日頃より本校の取組に対する温かいご支援、心から感謝申し上げます。特に昨年度、今年度と同窓会からの撮影機材等の寄贈により、画像伝送システムの導入と運用を行うことができ、学芸会・運動会の成功に大きな力となりました。

画像伝送システムの導入により、遠方に住んでいる祖父母、または身体的な制約がある人々など参観できない人々にも児童の頑張りや感動を届けることができました。配信場所は日本だけでなく海外に住んでいる祖父母、出張中の父母まで広がりました。「見られないと思っていたのに見ることができ、大変感動した。今後もずっと続けてほしい。」との感想もありました。また、おやじの会のご協力もあり、複数のカメラを同時に操作し、効果的にカメラアングルを使い分けることで場面の様子や児童の表情まで伝えることができました。より多くの方々と学



今年の運動会 6年生の演技(5月27日)

芸会と運動会の瞬間を共有できたことで、より多くの人々が私たちの喜びや成果を共感していただけることは、私たちにとって大きな励みとなりました。

また、学校図書の寄贈ありがとうございました。

昨年度は63冊の図書をいただきました。本は子どもたちの成長のために欠かせないので、図書館の本が充実することは大変嬉しいことです。また、毎年本が納入されましたら同窓会寄贈本コーナーを設けて、子どもたちに紹介しています。

改めて、心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

学童疎開 忘れてはいけない記録・記憶集めています

下北沢小学校同窓会の宝物

臼井 良雄 昭和29年卒 東大原

三校統合の議論が行われていた頃、当時の東大原小学校同窓会は世田谷区教育委員会に「新校には三校の同窓会や学校が保存してきた貴重な歴史遺産を保管閲覧できる部屋を作ってほしい」と強く申し入れました。その成果が下北沢小学校1階の会議室、別称メモリアルスペースです。各校が保存してきた開校以来の資料が学校別に収納され、閲覧が可能になっています。

内容は各校の開校以来の卒業アルバムやスナップ写真、年度署名入り文集などがあります。中でも第二次世界大戦中に行われた学童疎開に関する貴重な資料が保管されています。

疎開の資料については今年の同窓会総会でも紹介し、同時にメモリアルスペース



メモリアルスペースでの学童疎開資料の公開

での公開も行いました。

また総会では、昭和17年11月に6年生の卒業旅行で伊勢神宮に行かれた北沢国民学校の生徒、岩田陽様から「必勝祈願参宮の葉」を同窓会にご恵贈いただきました。ご実家が空襲で焼かれた際にも難を逃れたものとのことです。

学童疎開の思い出

武中守夫 昭和22年卒 東大原国民学校

私は東大原小学校に在学したことはない。昭和16年4月に東大原国民学校に入学した。その頃は校門を入ると薪を背負い本を読む二宮金次郎像があり、奥には天皇・皇后のご真影が収められている奉安殿が建っていた。月に一度くらい全校生徒が集められ、ご真影を拝しつつ校長の教育勅語の朗読があった。朗読中は下を向くことを強制されたので、ご真影をまともに拝見した覚えはない。授業で印象に残ったのは教科書に墨を塗らされたことだ。宮沢賢治の「雨にも負けず風にも負けず」の一節、「一日に玄米四合をたべ」を墨で消し「玄米二合七勺」と変えるようにと指示があった。終戦後に教科書を墨ぬりしたことをよく聞かすが、戦前の墨ぬりはあまり知られていない。



最近の武中守夫氏

昭和19年、学童疎開の話は突然のようにやってきた。行くのは2年生から6年生まで、費用は各家庭が負担するというものだった。私は遠足のようなものと勘違いし、母親に行きたいとせがんだものである。

疎開の出発はそれから一か月後。夏の夕暮、校庭に集まり出発した。下北沢駅は、どこから現れたのか父兄や見送りの人たちで押し合いへし合い、背中中の弁当が潰されてしまった。列車は新宿発松本行の夜行列車、見送りは下北沢駅までという学校の指示をほとんどの母親は守らず、新宿駅のホームまでつきそった。

浅間温泉には午前中に着いた。学校は本郷小学校、そこに世田谷から数校が来るようになっていた。学童達はいくつかの旅館に分けられ、各旅館には1、2名の先生が配置された。私は紅葉館、一番小さい旅館で、先生は音楽の中西先生だった。女子は富貴乃湯という一番大きな旅館にまとめられた。大きいので、本郷小が使えないとき座学で使用された。出征前の休暇を楽しむ航空訓練生も来ていた。

食事は豊富ではなかったが、飢餓を覚えるほどではなかった。学童達は親から小遣いを貰ってきていたが、温泉街のどこにも食べ物売っておらず、薬局にエビオスがあるだけだった。原則本郷小の教室で東大原の学童だけで授業し、地元学童との接触はなかった。旅館内での勉強は各旅館の先生にまかされていたようだが、紅葉館での勉強の記憶はない。環境は新聞などで報じられていたほど良くなく、二か月も経つと縁故先をさがし、子供を引き取りに来る親も始まった。学童達は「エンコ」と呼んで羨んだ。手紙などで縁故先を探すよう頼む学童もいた。

年度末には、卒業する6年生が東京に戻り、代わりに第二陣がやってきた。私たちは下伊那へ再疎開することになった。私は喬木村の安養寺へ。喬木村では男女混合、新しく来た学童の中に小さな可愛い坊ちゃんがいた。前下北沢小同窓会長の野地

さらに今回の会報には今年88歳になられた東大原国民学校の疎開児童だった武中守夫様がお稿をお寄せくださいました。

これらの資料は同窓会の財産としてこれから先もしっかりと保存していきます。

君である。こんな小さな子を親はよく手放したものだと思母たちは噂したが、実は前にお姉さんが第一陣で来ていたので安心して送り出したのであろう。喬木村の生活は楽しいものだった。学校も地元児童と一緒に、放課後も地元の子の家庭が温かく迎え入れてくれた。ところがこの生活は短期間に終わり、三回目の疎開となった。安養寺にいた守屋先生という若い先生に召集令状が来たためだった。先生の補充はなく、私たちは他の疎開組に分散配置された。

私は天竜川をはさんで対面にある座光寺村へ。2寺ある寺のうち、耕雲寺に男子第2組として配置された。

座光寺村での勉強は地元と一体であった。担任も地元の先生で、教科も地元のまま、たちまち地元の子となじみ、遊びも一緒になった。村からも出征兵士が多く出て、人手が足りなくなったため、農繁時には疎開児童も働き



下伊那 座光寺村 耕雲寺での学童疎開 (写真 武中守夫氏贈)

に出るよう求めてきた。私たちは一軒一軒に割り当てられ田畑に出たが、休憩時間にオヤキが食べられたので、これを心待ちにするようになった。このころになると食料事情は極端に悪くなり、夕食がさつまいも2本だけということもあった。朝夕がすいとんやさつまいもとかになったのは、地元の子の弁当と比べられるため、学校にはコメのごはんの弁当を持たせなければならなかったためである。オヤツなど満足に与えられるはずもなく、カイコのサナギを炒ったものを与えられたこともあった。

昭和20年8月15日、先生から「正午に重要なラジオ放送があるので割り当てられた農家に行き聴くように」と指示された。放送を庭に直立して聞き、日本が負けたことを知った。夜の集会で先生から「まもなく東京に帰るでしょう」との話があり、皆は喜びの声をあげた。

すぐに帰れると思ったが帰京は11月になった。帰りも塩尻から新宿まで夜行だった。疎開で戦争を知らなかった私たちは、車窓から甲府の空襲の焼け跡を見て大騒ぎになり、下北沢に着いて街が焼けているのに更に驚いた。

戦後になり六三制の義務教育が開始、昭和22年4月1日国民学校は小学校に名を改めた。私はその前の3月、東大原国民学校を卒業した。

同窓生の声

同窓生の皆さまのご投稿をお待ちします。

小学校の思い出

齋田 孝 昭和28年卒 守山

守山小学校5年生の時クラス替えがあって、私は鎌倉の小学校から転勤して来たばかりの若い男性の先生が受け持ちとなった。先生は何事にも前向きで、エネルギー感を感じ、又、暇があると鎌倉にまつわる歴史の話をしてくれた。そして、その年の遠足は鎌倉だった。

そのせいか、今でも趣味の一つは歴史であり、特に鎌倉・室町時代には関心がある。私にその種を蒔いてくれた先生に対する感謝の気持ちは忘れたことがない。

今 想うこと

片山 節子 昭和28年卒 守山

80年近く前の1944年～1945年、守山小学校の6年生が疎開先から東京のご両親と交わした手紙「山なみを越えて」を読み、現在の小学生が第二次世界大戦についてどの程度知識を持っているのだろうか、ロシア・ウクライナの現状をどう見ているのだろうかと考えさせられております。

時代の流れに対応し統合された「世田谷区立下北沢小学校」は「先進校」として注目される小学校となっている、この恵まれた環境で学ぶ在校生にとっては素晴らしい事です。

生徒達の輝かしい未来の活躍に期待すると共に、80年後の世界の平和を祈りつつ。



「山なみを越えて」

6年3組

大塚 篤子 昭和31年卒 北沢

6年間、クラス替えの無かった私たちは卒業の翌年から、毎年1月第3日曜にクラス会を開いて来ました。コロナで残念ながら途切れましたが、担任の眞道先生も、元気で外出できる間は毎年参加されてくださいました。

今年、三年ぶりに、1月ではなく、5月21日に開くことが出来ました。11名の参加でした。楽しい時を過ごしました。

来年は喜寿

神谷 良男 昭和35年卒 東大原

同窓会の理事を降りて数年が経ちました。足腰を傷め、毎週医者に通うリハビリの日々を送っています。同窓会も三校が一緒になり、ますます活発な活動をされていると思います。

この度、小学校の6年間を一緒に過ごした仲間と神奈川の大船にうまいお店があるということで行って来ました。今も同窓会理事をやっている益井さんを先頭に地元に住む私たち4人一緒に下北沢を出て、横浜在住の同級生3人と合流して楽しい昼飲み会をしながら、昔話に花を咲かせました。

大船のお店は観音食堂といい、かつて松竹の撮影所が近くにあった頃は松竹の監督や俳優（渥美清など）がここで食事をしたりお酒を飲んだりしたことでも有名で、特に魚がおいしい店だということ知られています。この日は残念



大船行 観音食堂にて

なことにすでにお店は満席で、他の店に移動して乾杯から始まり、昔の懐かしい話が続きました。本当は、出席者それぞれが小学校時代の思い出を話しながら私たちの過ごした6年間の「昭和の下北沢」を浮かび上げさせようなどと考えていたのですが、「担任の新井先生は、プールで皆が好きだけ泳ぐのを見てくれたね。当時は60人近い生徒を一人で見ていたんだから凄いねえ」「そんなことあったわねえ」「プールが終わると真っ青になった唇に砂糖と塩を混ぜたのを塗り、学校近くのお婆さんがやっている1本5円の串焼を食って帰ったなあ」「いや、それは覚えてないぞ」などと会話ははずんだものの、なかなか文章にまとめられるような話の進行にはなりません。

来年は我が同級生も喜寿を迎えます。記念のクラス会を開き、その席で今回の会話の続きをして、何とかまとまった話にしたいと思っています。

同窓会総会・同期会に出席して

塩見 正雄 昭和36年卒 東大原

きっかけは、令和4年6月後半から夏休みまで、米国生まれの孫が下北沢小学校5年に体験入学したことです。

令和5年4月1日付現地紙「週刊ニューヨーク生活」に「5年生の夏」と題した文が掲載され、その中に「毎日掃除の時間があるのがつらかった。雑巾をぬらして手でしぼっていたので、きたないなと思いました。床に四つんばいになってへやのはじからはじまで雑巾がけをするのが大変でした」等がありました。

4月16日、同窓会総会前、理事漆畑光一君より副校長富安誠哉先生を紹介いただき、お礼と文の報告を致しました。先生は「子供の素直な感想であり、特段事実と異なることは無い。」とおっしゃって下さいました。

総会では挨拶、議事、講演等があり、大字弘一郎校長が全国小学校校長会会長である事、新しく同窓会会長に選出された臼井良雄さんのお話で、学童疎開の始まりや、当時の北澤国民学校、守山国民学校、東大原国民学校の疎開資料等がメモリアルルームに保存されている事を知りました。

昭和36年卒、細谷(旧姓)さん、斎藤耕一君、小山田忠君と再会、同期会を考えていると聞きました。本年6月23日、伊藤真澄さん、白鳥純子さん、篠田令子さん(いずれも旧姓)が加わり、同期会はランチで始まりました。通っていた学年教室等の思い出に打解け、女性たちの話力話量に圧倒されながら、生きている喜びと余命の男女格差を痛感しました。



下北沢で

又、NHK番組「チコちゃんに叱られる」において、「何故、学校で掃除をするのか？」が問われたことも驚きでした。

昭和と平成生まれが令和の時、共に下北沢小学校にお世話になり得た事、この幸福を今かみしめています。

北沢小学校の思い出

古田 直子 昭和41年卒 北沢

昭和37年、3年生の私は水泳の特別指導に入る様先生に言われました。年上のお兄さん・お姉さん達にまじり、体の小さかった私は一生懸命に皆についていける様に練習しました。

私が4年生の時に、卒業生で昭和39年の東京オリンピック代表選手の福島滋雄さんが来て、泳ぎ方やターンの仕方を指導してくれました。飛び込んで2～3回腕をうごかすだけでゴールしてしまっ、狭いプールでクイックターンを見せてくれたりしました。

私も都大会や区の大会に出ましたが、1度だけ100m自由形で世田谷区新記録を出せた事が良い思い出です。指導して下さいました先生方に感謝しています。

北沢小から続く同窓会活動

菅原 充 昭和44年卒 北沢

2002年5月、組織化された北沢小学校同窓会が正式に立ち上がりました。その時から関わるようになり、当時は一番年下で先輩の皆さんに囲まれての活動でした。

北沢ふるさとまつりでは、私は睡会の焼きそば作りに参加していましたが、同窓会のメンバーは子供たちにゴム鉄砲や竹とんぼの作り方を指導していました。今までの色々な活動を通して、同窓会活動はボランティアではありますが、参加してみると思わぬ発見があると思います。

同期会

元田 雅子 昭和55年卒 守山

私が在席していた頃の守山は1学年3クラスだったので同期の顔と名前は大体把握していました。20代30代はクラス単位で集まっていたのですが、40歳を過ぎてからは学年で集まる様になりました。10年前には音楽の紅林先生の退職祝いを担任の鈴木先生、武田先生、保健の坂本先生もお招きして開催しています。



コロナ以降大人数で集まることは紅林先生の退職祝い2013年なくなりましたが、また以前の様に集まりたいと思います。（昭和49～57年に在任された坂本玄子先生は96歳になられましたがお元気です）

同窓会に参加してみよう

羽生田 やまめ 昭和61年卒 東大原

長男が東大原小の2年生だったときにPTA役員を引き受けたことが母校に関わるきっかけでした。その後、前会長の野地さんのお誘いで同窓会評議員に。PTAや同窓会は、実際に参加するまではこんなにたくさんの大人が子どもたちの学校生活に関わっているなんて知らず、いろいろな出会いや学びがありました。

同窓会の先輩方はご近所の方やおやじの会OBも多く、遊び場開放のイベントでもご一緒したこともあったりと結構身近な存在

だったことに驚きです。家事があるためお先に失礼することが多いですがのんびり楽しく活動させていただいています。

大切な思い出

小川 ひかる 平成29年卒 下北沢

本校同窓生の皆様、はじめまして。下北沢小学校第一期卒業生の小川ひかるです。

下北沢小学校に在籍したのは6年間の小学校生活のうち1年間という短い期間ではありましたが、多感な時期に新たな仲間と卒業を迎えることになるというのは当時の私にはとても大きな意味を持つものでありました。新しく仲間になるみんなは優しいかな、仲良くなれるかななどさまざまな心配事もありましたが、そんな気持ちは杞憂に終わりました。実際始めてみるとすぐに打ち解けあい、居心地の良さも以前と変わらずそこに賑やかさが加わっただけのようでした。当時も今も、振り返ると楽しい思い出ばかりです。下北沢小学校に通えてよかったと心から思います。末筆ながら、この温かで優しさや愛に溢れた下北沢小学校と、同窓生のみなさまが末永く幸せであることをお祈り申し上げます。

「合併」への複雑な思い

本多 未奈 平成29年卒 下北沢

小学5年生のときに、翌年から東大原小学校と守山小学校が統合することを知りました。同じ幼稚園の友達に再会できるという嬉しさとともに今までほとんど交流がなかった守山小学校の子達と仲良くできるのかという不安が込み上げてきました。グレーの校帽を被って登下校することや、下北沢小学校という名前でありながら守山小学校の校舎に通うことへの抵抗も少なからずあり、複雑な思いでした。

そして4月を迎え始業式当日、不安は一瞬にして消え、今までの学校に関係なくクラス全員と打ち解けることができました。中学校で地元の公立中学に通わなかった私にとっては、新たな仲間と共に同じ学び舎に通ったのはたった1年でしたが、他の人には経験できない「合併」というものを通して、とても濃く楽しい1年を過ごせたと思っています。

卒業から6年が過ぎ、大学生になりました。再来年の成人式では下北沢小学校第一期生のみんなに会えたら嬉しいと思っています。

令和5年度同窓会総会議事について

令和5年同窓会総会はコロナウイルス感染症の拡大に落ち着きが見られたことから令和5年4月16日に4年振りに対面開催され、各議案の説明及び質疑応答が行われた結果すべての議案が原案通り承認可決されました。なお、令和2年に北沢小学校同窓会が合流してからは初めての対面開催となりました。各議案の内容は下記の通りです。

第一号議案「令和2～4年度事業報告」

令和2年度は北沢小学校同窓会の合流が決定し、それに伴う会則の改定を行った。令和元年度2年度3年度はコロナ禍のため総会が開かれず、同窓会会則第7条4項「評議員会は、必要に応じて定例総会及び臨時総会の決定に準ずる事項を議決することができる。ただし、次期定例総会で報告を要する。」に従って評議員会を以って代行した。本年度総会ではこれに従い3年分を報告する。

1. 総会開催

令和2年4月の第4回総会は令和2年9月27日開催の評議員会で代行した。
令和3年予定の第5回総会は令和3年4月4日開催の評議員会で代行した。
令和4年予定の第6回総会は令和4年4月17日開催の評議員会で代行した。

2. 会員名簿の管理及び会報の発行

下北沢小学校同窓会として、令和2年11月に第4回目の会報を作成し発送、令和3年11月に第5回目の会報を作成し発送、第6回目の会報は体裁を一新し令和4年11月に作成し発送した。なお、現時点での同窓会員総数は約30,000名。うち連絡先判明者6,200名、会費・寄付金の納入者は530名。

3. 母校の教育環境の向上

この3年間の活動は、コロナ禍で戦う母校への金銭的支援活動が中心になった。

令和2年度は学校のオンライン授業開始に協力し、会員に呼びかけ余剰PCの寄贈、また不足する分のタブレット端末を購入して寄贈した。

令和3年度は東大原小学校時代に行われていた同窓会文庫の設置を再開、年間約10万円の予算で学校に図書選定を一任し購入。令和4年度も同様に継続し2年間で130冊を寄贈した。令和4年度は新たに学校の要望で、学校内の運動会や学芸会などのイベントを同時中継して児童の家庭に届ける無線映像伝送システム機器27万3千円を購入寄贈した。

4. 同窓生や地域の親睦を図るための事業

コロナ禍でもあり感染拡大防止の観点から実施しなかった。

5. 地域との連携

この3年間コロナ禍で実施された地域催事が減ったが下記のものに協賛した。
世田谷代田ものこと祭り、おやじの会主催校庭キャンプ、せたがや梅まつり(羽根木公園)

6. 理事会、評議員会の開催

コロナ禍で開催回数は減少したが感染拡大防止対策を徹底して実施した。

7. ホームページの管理・運営

下北沢小学校同窓会のホームページを随時更新している。

第二号議案「令和4年度決算報告および監査報告」

第四号議案「令和5年度予算案」

令和4年度決算報告

(自: 令和4年4月1日 至: 令和5年3月31日)

(単位: 円)

令和5年度予算

(自: 令和5年4月1日 至: 令和6年3月31日)

(単位: 円)

Table with 6 columns: 収入の部, 予算額, 決算額, 支出の部, 予算額, 決算額. Rows include 会費収入, 寄付金, 雑収入, 活動費, 会報費, 文具等消耗品費, etc.

Table with 6 columns: 収入の部, 令和5年度予算, 令和4年度実績, 支出の部, 令和5年度予算, 令和4年度実績. Rows include 会費収入, 寄付金, 雑収入, 活動費, 会報費, 文具等消耗品費, etc.

活動費 (*1) 明細

会報費 (*2) 明細

Table with 4 columns: 支出内容, 金額(円), 支出内容, 金額(円). Rows include ホームページ管理費, 寄付・協賛金, 無線映像伝送システム機器寄贈, etc.

会員の皆様からの会費・寄付金の支出にあたっては、同窓会活動に必要な経費の支出に限定しております。また、下記のガイドラインを設け、注意を払い、健全な会計を目指して活動しております。

令和4年度監査報告

我々監事3名は、令和4年度決算書類を慎重に監査した結果、いずれも適正かつ妥当なもの認めます。

令和5年4月2日

監事 齋藤 耕一
監事 久保 孝光
監事 元田 雅子

第三号議案「令和5年度事業計画案」

1. 会員名簿の管理及び会報の発行

年1回の会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。会員名簿の管理は個人情報漏えいを防ぐため、「個人情報保護方針」に従い、責任者を決め、厳重にこれを管理することを継続する。

2. 母校の教育環境の向上

母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行う。各種学校関連行事への参加、協賛、寄贈などを学校と協議し母校の発展に協力する。

3. 会員の福利厚生

現在特別なことは予定なし。ただし同窓生のメールや手紙による各種の要望には誠実に対応する。

4. その他

地域の行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

第五号議案「役員選出」

(卒業年の[S]は昭和、「東」は東大原小学校、「守」は守山小学校、「北」は北沢小学校、「下」は下北沢小学校の略)

1. 評議員候補者

(会則第6条に規定する定員: 20名以上、50名以内)

Table with 2 columns: 卒業年 氏名, 卒業年 氏名. Lists candidates for the board of directors.

2. 理事候補者

(会則第6条に規定する定員: 15名以上、30名以内)

Table with 2 columns: 卒業年 氏名, 卒業年 氏名. Lists candidates for the board of directors.

3. 会長候補者

(会則第6条に規定する定員: 1名)

Table with 2 columns: 卒業年 氏名. Lists candidates for the president.

4. 副会長候補者

(会則第6条に規定する定員: 若干名)

Table with 2 columns: 卒業年 氏名, 卒業年 氏名. Lists candidates for the vice president.

5. 監事候補者

(会則第6条に規定する定員: 3名)

Table with 2 columns: 卒業年 氏名, 卒業年 氏名. Lists candidates for the auditors.

6. 参与候補者

Table with 2 columns: 卒業年 氏名, 卒業年 氏名. Lists candidates for participation.



今年の総会(令和5年4月16日)の様子

総会で疎開資料の講演をする白井新会長